

20年度事業報告と財務報告

学校法人岐阜保健短期大学及び岐阜保健短期大学医療専門学校の前年度における事業の概況と決算の状況につきましてご報告申し上げます。

■事業の概要

世界的不景気になり、雇用問題等の深刻化してきています。学校マネジメントも少子化、4大制化など経営は年々厳しくなっている。

本学も生き残りのため、前年度 岐阜保健短期大学設立し、看護学科を開設しました。

また、今年度はリハビリテーション学科 理学療法学専攻の設置、次年度予定では、リハビリテーション学科 作業療法学専攻及び言語聴覚学専攻を22年度に設置予定です。専門学校では、志願者の減少が激しい調理専門学校の廃校、又、社会福祉課程の介護福祉学科の廃学科などを行い努力しています。今後、地域社会に医療職の育成を通し貢献するとともに、教育施設・教育水準の向上を目指しています。

■財務の概要

1. 収支計算書の概要

消費収支の部 帰属収入合計について、前年度に比べ全体の学生数が約3% 予減少したに伴い約0.9%の減となった。

手数料及び資産運用収入・雑収入の合計では、ほぼ横ばいとなった。

消費支出の部では人件費を前年度比べ11百万円減額した、教育研究経費が1百万円の増額した。管理費等は23百万円の増となった。

2. 監事・公認会計士の監査状況

監査の結果、理事の業務の執行に関しては法令および寄附行為に違反する重大な事実はなく、また平成20年度の学校法人豊田学園の財産の状況は適正な処理がなされていることの確認を受けた。公認会計士の監査は、月次監査として毎月受けている。

3. 寄附金・学校債の募集

寄附金・学校債等の募集は行っていない。

4. 資金収支計算書

収入の部 1, 498, 767, 906円

支出の部 1, 498, 767, 906円

5. 消費収支計算書

帰属収入合計 717, 019, 627円

基本金組入額合計 △14, 423, 607円

消費収入の部合計 702, 596, 020円

消費支出の部合計 607, 236, 186円

当年度消費収入超過額 95, 359, 834円

前年度繰越消費支出超過額 371, 240, 143円

翌年度繰越消費支出超過額 275, 880, 309円